

# 2023年度 環境経営レポート

(2023年8月～2024年7月)

認証・登録日:2016年1月26日

## 株式会社 オートセールス龍 マツダオートザム太田

### 《ご挨拶》

近年は、地球温暖化・資源枯渇・大気汚染などの環境問題が注目され、環境に対する意識がますます高まっています。株式会社オートセールス龍は1979年創業以来「地域社会に貢献し信頼される企業」をスローガンに掲げ、自動車修理・販売業として歩んでまいりましたが、その中で、私たちにできる事はないかと考え、もっと積極的に環境問題に取り組むべく、エコアクション21に参加致しました。社員全員でエコマインドを共有し、循環型社会の実現に貢献できる企業でありたいと思っております。

以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

株式会社 オートセールス龍  
代表取締役社長  
小久保 京子

### 《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営計画の取組計画と評価	P-5・6
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	P-7

# 1. 環境経営方針

## 〔基本理念〕

(株)オートセールス龍は、環境が最重要課題の1つである事を認識し、環境との共生・調和を目指し、地球環境に配慮した事業活動に努めます。

## 〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 環境関連法規制等の遵守  
事業活動において環境関連法規制等を遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減  
不必要時の消灯、空調の適温化、営業車でのエコドライブなど、事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油などの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。
3. 廃棄物の削減  
事務所・工場から出る廃棄物を最小限にするよう努力します。
4. 上水使用量の削減  
日常的な節水を心掛け上水使用量の削減に努めます。
5. 低燃費車などエコカーの販売促進  
環境に配慮した車両の販売を促進します。
6. 事務所におけるグリーン購入促進  
事務所において、環境に配慮した物品を購入・使用するよう努めます。

2025年 2月 20日

株式会社 オートセールス龍

代表取締役

小久保 京子

## 2. 事業活動の規模

### 1. 事業所及び代表者名

株式会社 オートセールス龍  
代表取締役社長 小久保 京子

### 2. 所在地

本社	群馬県太田市小舞木町282
アートスマイル車検センター	群馬県太田市末広町1227-4
カーメイク太田	群馬県太田市東矢島町1260-2
小舞木ステーション令和	群馬県太田市小舞木町292

### 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者	:	代表取締役社長	小久保 京子
環境管理責任者	:	統括部長	近藤 道夫
担当	:	E A 2 1 事務局	土市 将矢・栗田 雄介

TEL : 0276-48-5760  
FAX : ryu@ryuinc.com  
E-mail :

### 4. 対象範囲

株式会社 オートセールス龍の全活動を対象範囲とする。

### 5. レポートの対象期間

2023年8月～ 2024年7月

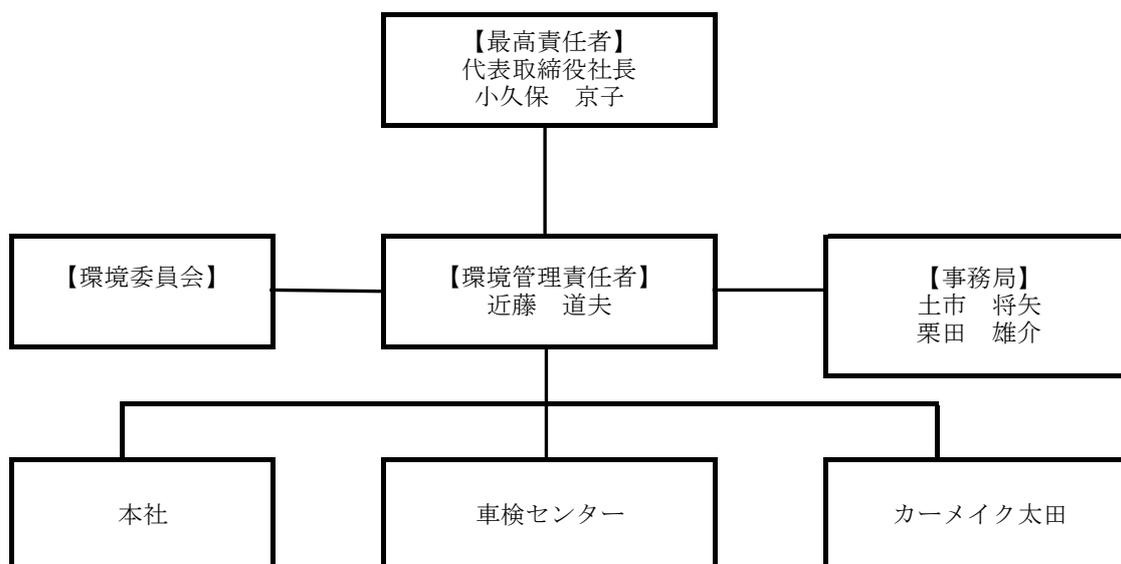
### 6. 事業の内容

新車、中古車、福祉車両の販売及び、車検整備、钣金塗装、保険代理店、燃料販売

### 7. 事業規模

活動規模	単位	2019年度 (41期)	2020年度 (42期)	2021年度 (43期)	2022年度 (44期)	2023年度 (45期)
従業員数	人	40	42	42	43	43
販売台数	台	420	505	452	474	695

### 3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 小久保 京子】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。</p> <p>③環境方針を制定する。</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。</p>
環境管理責任者	<p>【近藤 道夫】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。</p>
事務局	<p>【土市 将矢・栗田 雄介】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、概ね年4回環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。</p>

## 4. 環境経営目標とその実績

### 1. 主要な環境目標と環境負荷・実績

環境目標	基準値	今年度目標		2年後の目標	3年後の目標	環境経営活動計画 実施事項
	2022	2023		2024	2025	
	実績	目標	実績	目標	目標	
①売上100万円当たり二酸化炭素排出量の削減	107.4kg /-CO2	2022実績に対して1%削減 (106.35)	79.3 kg-CO2 (○)	2023実績に対して1%削減	2024実績に対して3%削減	①空調温度適正化・表示 ②照明等の不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計 ⑦原因分析と削減方法の検討
②売上100万円当たり廃棄物の削減	18.67kg	2022実績に対して1%削減 (18.48)	24.65kg (×)	2023実績に対して1%削減	2024実績に対して1%削減	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③廃棄物排出量の集計 ④裏紙使用ルールの徹底 ⑤原因分析と削減方法の検討
③売上100万円当たり水使用量の削減	0.895m <sup>3</sup>	2022実績に対して1%削減 (0.886)	0.844m <sup>3</sup> (○)	2023実績に対して5%削減	2024実績に対して5%削減	①毎月のメータを確認する(漏水防止) ②節水表示 ③洗車時の節水 ④トイレの節水 ⑤原因分析と削減方法の検討
④化学物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	①新規化学物質使用時はSDSを入手 ②PRTR法対象物質の使用有無を確認 ③適正管理
⑤本業に関する目標	530台	2022実績に対して1%増加 (535)	695台 (○)	2023実績に対して3%増加	2024実績に対して3%増加	①エコカーの販売 ②原因分析と目標達成の検討

\* 調整後CO2排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)2022年度0.376kg-CO2/kwhを使用しています。

環境負荷・実績		2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	249259.5	227379	149094
廃棄物総量	kg	42780	39517	46325.6
水使用量及び総排水量	m <sup>3</sup>	1904	1894	1586

## 5. 環境経営活動計画の取組みと評価

\*2023年度（2023/8～2024/.7）の12ヶ月の活動の取組みと評価をしております。

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価
1. 売上100万円当たりの 二酸化炭素排出量の削減  前年実績に対し 27.29%削減 目標の達成状況：○	電気料金は残業時間が少なく出来たお陰で削減できた。また店休日を増やしたことも大きな要因。
	次年度への取組内容
	スチームのスイッチなど必要ない時にはお湯にしないようコマメにスイッチを切り替える。
2. 売上100万円当たりの 廃棄物の削減  前年実績に対し 19.39%増 目標の達成状況：×	廃棄物は増えてしまったので出来る限り再利用やペーパーレス化を再度すすめていく。
	次年度への取組内容
	引き続き計測を行いながら全社員にもっと廃棄物に対する意識付けを行っていく。
3. 売上100万円当たりの 水使用量  前年実績に対し 5.6%減 目標の達成状況：○	展示車の洗車の頻度は減らし、洗車の仕方も工夫をしたことが要因。
	次年度への取組内容
	引き続き節水に対する意識を持たせていきたい。
4. 化学物質の適正管理 『目標』適正管理  目標の達成状況：○	カーメイク太田で使用しているシンナー等5品目の使用量は把握できた。
	次年度への取組内容
	使用量が把握出来た5品目のSDSを入手して化学物質の含有量を把握する。
5. 本業に関する目標  前年実績に対し +165台 目標の達成状況：○	エコカーの販売台数が台となり目標台数より160台と大幅なプラスとなった。
	次年度への取組内容
	引き続きエコカー販売を進めていく。

## 6. 環境関連法規制の遵守

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

	法律・条例	その他の名称	遵守の為の取組	遵守状況
2	下水道法		排水基準の遵守	遵法
3	浄化槽法		保守点検及び11条検査の実施	遵法
4	騒音規制法		規制基準値の遵守	遵法
5	振動規制法		規制基準値の遵守	遵法
6	悪臭防止法		規制基準値の遵守	遵法
7	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		マニフェストの発行・保管、交付状況報告 廃棄物置場の整備	遵法
10	PRTR法		SDSの入手、使用量の把握	遵法
13	消防法		少量危険物保管、緊急事態対応	遵法
14	フロン排出抑制法		簡易点検記録	遵法

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2025年2月20日の環境関連法規遵守状況の確認において、  
環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

残業時間を大幅に削減した事と洗車の回数を減らした事により電気と水道使用量を大幅に削減出来たが、ガソリン、灯油の使用量がとっても増えてしまった。車販時の成約特典のガソリン満タン納車なども要因だと思われる。また、会社の定休日を増やした事も要因と思われる。エコアクションの活動を通じ、社員一人一人が環境に対する意識を強く持ちながら行動して頂ければと思います。